|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 | 　 | **チェック項目****放課後等デイサービス自己評価表** | **はい** | **どちらともいえない** | **いいえ** | **改善目標、工夫している点など** |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 　９０％ | 　１０％ | 　０％ | 3施設への機能分化により十分なスペースは確保できるようになりました。 |
| 2 | 職員の配置数は適切であるか  | 　４０％ | 　５０％ | 　１０％ | スタッフの関心を考慮した効果的配置を目指しています。 |
| 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか  | 　１０％ | 　９０％ | 　０％ | 現在のところ肢体不自由児に関しては利用者がいません。今後、受け入れを検討する際には施設の環境整備を進めてまいります。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 　９０％ | 　１０％ | 　０％ | OKR（全体目標を意識した個人目標達成ツール）を通じてPDCAを回しています。 |
| 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか  | 　７０％ | 　30％ | 　０％ | 保護者アンケートを実施し業務改善に繋げていますが、更に保護者様の意向を深くくみ取り、配慮するよう努めたいと思います。 |
| 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 　７０％ | 　３０％ | 　０％ | ホームページにて公開しています。 |
| 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 　４４％ | 　５６％ | 　０％ | ３施設への機能分化の折相談員や行政等に見学していただき評価を得ています。 |
| 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 　60% | 　４０％ | 　０％ | オリジナル研修プログラムを活用しています。更に外部研修にも参加し、伝達講習を実施しています。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 　８０％ | 　２０％ | 　０％ | 日々のメニュー作りで出されるお子様への評価を活かし、アセスメントを行い、分析したうえで計画書を作成しています。 |
| 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 　７０％ | 　３０％ | 　０％ | アセスメント整理表を活用することで、お子様を細かく分析することが出来、本人に合った日々のプログラムとサービス計画書が作成できていると考えています。 |
| 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 　60% | 　40％ | 　０％ | 担当者がメニューを日々作成し、チームで検討し提供しています。　 |
| 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 　９０％ | 　０％ | 　１０％ | お子様が楽しく通所していただくことを大きな目標とする中で、本人に合ったプログラムを作成しています。好みや認知レベルによって変わるためその都度検討し修正しています。 |
| 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 　７８％ | 　２２％ | 　０％ | 平日は通常支援で学習や運動を行っていますが、土曜日の利用は普段では出来ない長編ゲームや動画編集など好きなこと・やりたい事に取り組んでいます |
| 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | 　７０％ | 　３０％ | 　０％ | 機能分化したことで、個別活動・集団活動の日々のプログラムやサービス計画書が作成しやすくなりました。個人の好きなこと伸ばしと集団でのコミュニケーションゲームや育脳アナログゲームを効果的に組み合わせていきたいと思います。 |
| 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 　８０％ | 　１０％ | 　１０％ | サービス提供前に全体ミーティングを行い情報を共有しています。更に支援開始前には、お子様のプログラムの内容・支援場所の確認をしています。 |
| 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか | 　５０％ | 　３０％ | 　２０％ | 短時間ではあるが振り返りをするよう心掛けています。今後もお子様により良いサービスの提供ができるようにしていきたいと思います。 |
| 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 　７０％ | 　３０％ | 　０％ | 日々の記録をSOPAで記載することで、その時のお子様の様子がよくわかるようになり、更にモニタリングや計画書の見直しがスムーズになりました。　今後もお子様や保護者様が満足していただけるようなサービスの提供を心がけていきます。 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか **事業者向け** | ７８％ | 　２２％ | 　０％ | 6ヶ月ごとにモニタリングを行いサービス計画書の見直しを行っています。お子様は、日々スモールステップではありますが向上しています。その日々の変化を反映させるためにアセスメント整理表を活用し効果的なモニタリングづくりを心がけています。 |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか | 　８０％ | 　２０％ | 　０％ | 保護者様同伴イベントを実施し親業や育脳アナログゲームを通じて親子間交流を図っています。また、いちご狩りや運動会を実施することで同じく親子間交流を図っています。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 　７０％ | 　３０％ | 　０％ | 担当者会議には責任者が参加しております。事前にお子様の様子をミーティングで話し合って内容を文章化しています。会議後は日々のミーティング時に報告をしています。 |
| 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 　９０％ | 　１０％ | 　０％ | 学校との情報共有は密に行っております。学校でのトラブルなどは迅速に聞き取り、学校訪問などの対応をしています。 |
| 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 　９０％ | 　１０％ | 　０％ | てんかんのある子に関しては、保護者より発作時の対応の仕方を細かく聞き取り、職員間で情報を共有し、マニュアル化することで迅速な対応ができる体制を整えています。 |
| 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 　６０％ | 　４０％ | 　０％ | 児童発達支援事業所とは相談員を通じて情報を共有し、相互理解に努めています。 |
| 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 　４４％ | 　５６％ | 　０％ | 当施設の初めての卒業生が自分の夢が実現して、カナダ留学が決まっています。今後のあり方を本人を通じて保護者様・学校・相談員と情報を共有していきたいと考えています。 |
| 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 　５０％ | 　５０％ | 　０％ | 定期的に外部研修にも参加し、伝達講習を実施しています。 |
| 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 　５０％ | 　４０％ | 　１０％ | お子様や保護者様の希望も踏まえて交流会（アナログゲーム大会）を検討しています。 |
| 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | 　５０％ | 　４０％ | 　１０％ | 行政が行っている自立支援協議会に委員として参加しています。 |
| 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 　100％ | 　０％ | 　０％ | 支援終了時に時間を設け、行ったプログラムやその時の様子をお話ししています。 |
| 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか | 　７０％ | 　３０％ | 　０％ | 親業研修を実施しました。ペアレントトレーニング等は他施設での開催に参加を促しています。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 　８０％ | 　２０％ | 　０％ | 運営規定や利用者負担等などは、契約時に説明をさせていただいています。支援の内容に関しては、利用時やモニタリング月・受給者証更新月に計画書の見直しとして説明をさせていただいています。 |
| 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 　８０％ | 　２０％ | 　０％ | 保護者様との面談は随時受付しています。学校でのいじめ対応など学校と協力して解決してまいりました。 |
| 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 　７０％ | 　３０％ | 　０％ | イベントを通じて父母会を開催しています。より効果的運営を工夫していきたいと思っています。 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 　60% | 　４０％ | 　０％ | 現在、苦情等についてはスタッフが抱え込むのではなく、スタッフ全員の問題とすることを共有しています。 |
| 　 | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか  | 　80% | 　１０％ | 　１０％ | ホームページやトム・ソーヤ通信を通じて活動概要や目的・情報等を発信しています。今後もホームページのリニューアル等で最新の情報が発信出来るように心がけていきます。 |
| 　 | 35 | 個人情報に十分注意しているか  | 　80% | 　１０％ | 　１０％ | 個人情報保護につきましては定期的研修と日々のチェックを心掛けたいと思います。 |
| 　 | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 　70% | 　３０％ | 　０％ | 現在、当施設では軽度（障害ランク）のお子様を支援しており、意思の疎通や情報伝達には特に問題はありません。今後、重度のお子様を受け入れる際には、十分な研修をさせていただきたいと考えています。　 |
| 　 | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 　50％ | 　40％ | 　１０％ | クリスマス会・運動会等に行政や相談員・学校の先生を招待し参加しています。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 　60% | 　40％ | 　０％ | 監視カメラ設置・自動点灯設置・紙タオル使用・手洗い・マスク装着・教室内消毒・換気の徹底（新型コロナウイルス感染予防カードを作成）しています。 |
| 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 　70% | 　３０％ | 　０％ | 避難訓練を実施し災害の発生に備えて避難経路・避難場所の確認をしています。 |
| 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 　50％ | 　50％ | 　０％ | 職員育成、研修プログラムの中に組み込まれていて各自がパソコンで研修を進めています。 |
| 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 　40％ | 　６０％ | 　０％ | 現在のところ身体拘束が必要とされるお子様はいない為、記載はしていません。　 |
| 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 　50％ | 　50％ | 　０％ | イベント等で食べ物を提供する際は保護者からの情報のもと十分に注意して提供しています。 |
| 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 　20％ | 　70% | 　１０％ | 日々の活動の中で起こるヒヤリハットへの対処を仕組みの中に落とし込んでいきたいと考えています。 |